

## 情報公開用文書

(多機関共同研究用)

西暦 2026 年 3 月 4 日作成 第 1.0 版

研究課題名	A 型急性大動脈解離におけるプロテオーム解析で検出されたタンパク異常を確認する免疫組織化学染色を行う多機関共同観察研究
研究の対象	2026 年 1 月から 2028 年 12 月の間に、横浜市立大学附属市民総合医療センターで A 型急性大動脈解離と診断されて人工血管置換手術を受けた患者さんのうち、手術時の年齢が 20 歳から 65 歳の患者さんを対象とします。 また同じ期間に虚血性心疾患に対して冠動脈バイパス術を受けた患者さんのうち、手術時の年齢が 20 歳から 65 歳の患者さんも対象とします。
研究の目的	A 型急性大動脈解離は突然発症し生命に関わる重篤な疾患です。しかし、マルファン症候群、エーラスダンロス症候群など、遺伝子異常が解明されている症例は全体の数%に過ぎず、大多数の症例の発症原因は未だ解明されていません。 私たちは、組織中のタンパク質を分析するプロテオーム解析を用いて、A 型急性大動脈解離の患者さんの大動脈壁と、冠動脈バイパス術の患者さんの大動脈壁とを比べて、A 型急性大動脈解離の患者さんの大動脈壁に多いタンパク質と少ないタンパク質を発見しました。 それらのタンパク質が大動脈壁のどこに存在しているかを調べて、A 型急性大動脈解離の発症メカニズムの解析のためのデータを収集することを目的としています。
研究の方法	人工血管置換術及び冠動脈バイパス術の際に切除された大動脈組織の残余を用いて免疫組織化学染色を行い解析し、それぞれのタンパク質が A 型急性大動脈解離の患者さんの大動脈壁のどの部分で多く、どの部分で少ないのかを調べます。 いずれも通常の診療で得られた情報・検体を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2026 年 3 月 25 日（実施機関の長の許可日） ～ 西暦 2029 年 12 月 31 日 試料・情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 2026 年 3 月 25 日（実施機関の長の許可日）
研究に用いる試料・情報の項目	【試料】診療で採取された以下の検体を用います。 ・人工血管置換術及び冠動脈バイパス術の際に切除された大動脈組織の残余検体 【情報】診療録から以下の情報を収集します。 1) 背景情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、合併症 2) 術前の A 型急性大動脈解離の病型分類 3) 血液検査の結果：白血球数、ヘモグロビン濃度、血小板数、総蛋白、血清アルブミン等 4) 画像検査：術前 CT 検査 5) 手術情報：術式、手術時間、手術所見 等 6) 病理結果 7) 予後

## 情報公開用文書

(多機関共同研究用)

<p>試料・情報の授受</p>	<p>本研究では、横浜市立大学市民総合医療センター心臓血管センター外科で上記の検体・情報を収集します。</p> <p>収集された上記検体は、横浜市立大学市民総合医療センター病理部で免疫組織化学染色用のホルマリン固定パラフィン包埋ブロック切片を作製して、共同研究機関の東京医科大学細胞生理学へ提出し、免疫組織化学染色を行います。</p> <p>収集された上記の情報については、横浜市立大学市民総合医療センターでのみ取り扱い、共同研究機関との間で共有はしません。</p> <p>検体は、各機関へ研究代表機関の担当者が出向き、直接受け渡しを行うか、専門の業者に委託し、研究代表機関へ送付します。</p> <p>検体や情報は、研究代表機関で少なくとも 5 年間保管しますが、本研究で収集した検体及び個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。また共同研究機関に共有された情報も、上記と同様の期間保管します。</p> <p>廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で検体は規定等に従って廃棄し、情報は復元できない方法で廃棄します。</p>
<p>個人情報の管理</p>	<p>試料・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は作成した研究機関で管理し、外部へ持ち出すことはありません。上記の通り研究に関わる機関の間で検体や情報の授受が発生しますが、研究対象の方が受診された病院以外の機関が個人を特定することはできません。</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者</p>	<p>【研究代表機関に集積された検体・情報の管理】</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センターの個人情報の管理責任者は病院長ではありますが、その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究代表者：横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター外科 内田 敬二</p> <p>【対応表の管理】</p> <p>共同研究機関の責任者（「研究組織」の欄をご覧ください。）</p> <p>【共有された情報の管理】</p> <p>共同研究機関の責任者</p>
<p>利益相反</p>	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間接的な関係を含むものです。</p> <p>本研究は、2024 年度科研費基盤研究 (C) で採択された「A 型急性大動脈解離発症予防のための大動脈壁プロテオーム解析と疫学的検討」の資金の一部を用いて行います。</p> <p>また今後研究代表者が新たな科研費を申請します。</p> <p>不足分は研究代表者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。開示すべき利益相反はありません。</p>

## 情報公開用文書

(多機関共同研究用)

<b>研究組織 (利用する者 の範囲)</b>	【研究代表機関と研究代表者】 横浜市立大学市民総合医療センター 心臓血管センター外科 (研究代表者) 内田 敬二 【共同研究機関と研究責任者】 東京医科大学 細胞生理学分野 (研究責任者) 横山 詩子
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒232-0024 住所：神奈川県横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学市民総合医療センター 心臓血管センター外科 (研究責任者) 内田 敬二 (問い合わせ担当者) 小島 貴弘</p> <p>電話番号：045-261-5656 (代表) FAX：045-253-0161</p>	